

日伯交流委員会

2018年12月11日

日伯交流委員会 2018年度活動報告

委員会メンバー

委員長 安田 篤 (Sompo Seguros)

副委員長 山内 悠輝 (Sompo Seguros)

<日伯交流委員会 上期中間実績報告>

2018年通年活動方針

1) 日本移民110周年の節目におけるブラジル日系社会への新たな貢献並びに連携

⇒2018年通年開催予定の日本移民110周年行事の企画・立案への参画並びに協力

- ・110周年記念祭典委員会への参画（祭典副委員長/実行副委員長）
 - ・（記念式典開催費用に充当するための）2回にわたる協力券販売への支援
 - ・移民史料館改装計画（創立40周年記念事業）への協力（会員企業12社）
 - －6月17日、18日 ブラジル日本移民の日 先駆者慰霊行事、ミサ
 - －7月21日 110周年 記念祭典（眞子内親王ご臨席）
 - －7月22日 史料館近代化オープニングセレモニー（眞子内親王ご臨席）

2) 青年会議所や他地域の日系商工会議所等との連携・相互交流機会の強化を通じた共同イベントの開催に加え、次世代における日伯間の人的な関係強化を視野に入れた施策の企画・立案・実行

⇒青年会議所（J C I）やその他の日系団体との連携による共同イベントの開催

RevitaLiba,ブラジリアンマインド（会員企業 30 社参加）への協力

⇒本邦大学の世界展開力強化事業（中南米留学プログラム、ブラジルの企業・教育機関との交流等）への協力等を通じた本邦における次世代のブラジル人材の育成

・フェスティバルジャパン 筑波大学（覚書締結先）ブース設置に会員企業 3 社賛同（7 月 20-22 日）

・横浜国大グローバル人材調査への協力（会員企業 3 社）

・東京外国語大学留学生の企業インターンシップ受入れ（会員企業 2 社）

3) ジャパンハウス（以下 J H）と会議所会員企業との有機的な連携並びに J Hの持続的な運営に資する具体的な提言の発信

⇒開場 2 年目を迎える J Hと会議所会員企業との連携強化や J H運営委員会における提言・進言

・世界 3 拠点の J Hを念頭に置いたグローバルスポンサー企業の発掘

・固定費を除くイベント毎の変動費をカバーし得る企画・立案の策定

・主要人材の入れ替えに関する意見具申（館長の交替 等）

4) 2025 年 大阪・関西 万国博覧会誘致活動への協力

⇒競合候補地であったロシア、アゼルバイジャンを抑えて大阪・関西万博開催が決定

以上